

経営者への活きた言葉

幸福度と生産性について 大竹 文雄(大阪大学教授)

1. 私たちのやる気は、健康状態だけでなく、その日の気分にも影響を受ける。もし、人々が幸福な気持ちになれば、仕事へのやる気が高まって、生産性が高まるなら、家庭でも、職場でも明るくなるような工夫をすることで、同様の効果が得られるはずだ。
生産性が高まれば、所得が増えて、幸福度も高まり、さらに生産性が高まるという好循環になる。
2. 逆に、暗いニュースが続くと、人々の生産性は低下して、所得が下がり、幸福度も下がり、さらに生産性が低下するという悪循環に陥ることになる。では、幸福度が高くなると生産性が高まるというのは、本当だろうか。最近の研究によれば、幸福度が高くなると、生産性が高まるうえ、忍耐強くなるそうだ。
3. 幸福度と生産性の関係について、イギリスのウォーリック大学のオズワルド教授やアメリカのサンタクララ大学のイフチャー教授らが興味深い実験を行っている。
こうした研究は、まだまだ始まったばかりであり、多くの検証が必要だろう。それでも、人々が幸福になれば、生産性が高まり、将来のことを重視できるようになるのであれば、いいことばかりである。
研究結果を信じて、仕事の前に、幸福な気持ちになるように心掛けることを実践して損はないと思う。

(参考:「週刊東洋経済」2011年11月12日号)

ワンポイント経営アドバイス

創業の理念に立ち返る

1. 広島県三原市。JR三原駅から歩いて数分のところに4坪ほどの小さな店舗がある。まだ周辺の店が営業を始めるか始めないかの早朝にもかかわらず、多くの人が列を成す。店の名は「八天堂」。
クリームパン専門店だ。商品が店頭からなくなると売り切れ御免。
ほぼ昼前には営業を終えてしまう。首都圏と関西にも進出、毎日広島から東京へ商品を空輸する。
2. 1933年の創業だが、一時「良い商品」ではなく「売れる商品」へと舵を切り、約100種類のパンを扱うようになった。事業拡大にもかかわらず、気がついたら全店赤字で多くの従業員が離れていった。
追い込まれた結果「食べた人に喜んでもらえる良い商品を心を込めて提供する」という創業理念に立ち返り再成長軌道に戻った。

(参考:「日経ビジネス」:2011年11月21日号)